

世界市民教育プロジェクト 社会・環境意識部門

社会の現象を「科学」する

-東アジアにおける心理学研究-

京都大学教育学研究科
世界市民教育プロジェクト 社会・環境意識部門
講師 パク・ジュナ
D2 林 売親
M2 郷田 寛二

1. 社会・環境意識教育とは

- われわれは、このグローバル社会において、適応及びウェルビーイングに影響を及ぼすダイナミックな課題に直面しています
- 本部門は、気候変動や社会問題に対する認識の変化といったグローバルな課題を検討し、これらの課題が引き起こす不安に対処するための心理的適応やウェルビーイングの向上に資する戦略の開発を目指します
- また、東アジアの伝統的価値観や文化的要因といった視点を取り入れることで、これらが教育実践や個人・集団の適応プロセスに与える影響についても探求します
- このような研究活動により、教育現場における革新的な指導法やカリキュラムの開発と連携し、学習者が環境及び社会問題に対する批判的かつ多角的な視点を養い、他分野の専門家とも協働しながら、社会における持続可能な変革に寄与することを目指します

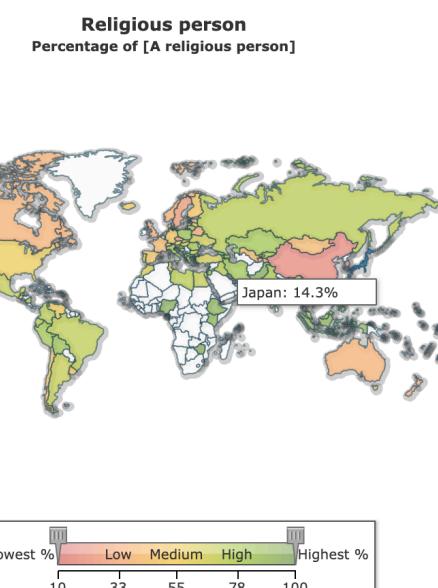
2. 社会・環境意識教育の研究方法について

テーマ1：日本の宗教性

日本は宗教的でない？もしそうなら、なぜ？

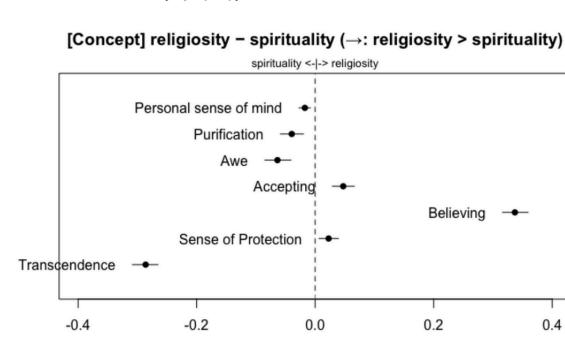
背景：

- 世界的な調査では、世界の国々に比べて日本が宗教的でないという結果があります（右図）
- 一方で、他の調査では調査に参加した人の約7割がお墓参り・お供えをしていたり、64%の人が神様や見えない存在を信じているという事ともわかっています
- こうした宗教性に関する矛盾は、宗教そのものの定義と調査の方法（e.g., 質問の項目）に起因するものではないでしょうか？



方法①：「宗教」定義の再分析

- 先行研究の知見
 - 社会学・宗教学などの先行研究によると、「宗教」＝教義や儀礼があり組織立っているもの
 - 「宗教的でない」＝「合理的・理性的」という社会的判断
- 自然言語処理での解析
 - 一口に宗教・宗教性といつても異なる側面を指すことから、これらを混同した質問紙の有用性に疑問が残る（下図）



3. 活動報告

● 「より良い社会へ」リリースイベント

- 心理学における研究と実践の相関や社会貢献、ウェルビーイングの推進について
- Kuba Krys 准教授 (Polish Academy of Sciences, Poland)による「より良い社会へ」国際報告書 (the 2nd edition of the Social Development Report) の発表
- Yoshihisa Kashima 教授: The University of Melbourne, Australia、Espen Røysamb 教授: University of Oslo, Norwayとのディスカッション
 - ウェルビーイングの研究に関する討論
 - ウェルビーイングの二つの側面の関係と、社会の発展や個人の価値観・文化的価値観によって、「意味がある人生」の定義や社会に及ぼすインパクトが異なってくる可能性について

● Joshanloo教授による講演会

Exploring Cultural Perspectives on Well-Being

- 文化におけるウェルビーイング概念の多様性を理解するための統合的枠組みの提示
- ウェルビーイングの文化差が現れる四つの主要な次元—快楽主義対徳倫理主義、自己高揚対自己超越、独立性対相互依存、脱文脈化対文脈化—を強調
- 西洋の個人主義社会と非西洋の集団主義文化の事例を用い、真正性 (authenticity) や調和 (harmony) といった理想がいかにして異なるウェルビーイングの道筋を形成するかを提示
- ウェルビーイングの心理学理論に多様な文化的視座を組み込む重要性

参考文献

- Haerpfer, C., Inglehart, R., Moreno, A., Welzel, C., Kizilova, K., Diez-Medrano J., M. Lagos, P. Norris, E. Ponarin & B. Puranen (eds.). 2022. World Values Survey: Round Seven - Country-Pooled Datafile Version 6.0. Madrid, Spain & Vienna, Austria: JD Systems Institute & WVS Secretariat. doi:10.14281/18241.24
- Roberts, M. E., Stewart, B. M., & Tingley, D. (2019). strm: An R Package for Structural Topic Models. Journal of Statistical Software, 91(2), 1–40. https://doi.org/10.18637/jss.v091.i02

● 韓国・浦項工科大学環境工学科での講義

- 心理学から見る環境問題：東アジアにおける課題と可能性
- 気候変動や環境意識に関する心理学的視点を紹介
- 東アジア文化圏に見られる社会的・文化的要因の環境に配慮した行動への影響

WEBサイトはこちら

